

言語対照研究系
基幹型共同研究プロジェクト

述語構造の意味範疇の普遍性と多様性

リーダー： 教授 プラシャント・パルデン

研究目標：

意味的他動性が出来事の認識とその言語表現
および言語習得にどのように反映するかを解明する



言語類型論班
(研究者40名)

- 日本語を含む世界の35言語の様相の解明
- 多言語対照による言語の多様性と普遍性の解明



心理言語学班
(研究者6名)

- 外界の認識・捉え方と言語表現の関係の解明
- 外界の認識における多様性と普遍性の解明



言語習得班
(研究者4名)

- 外国人日本語学習者の日本語自他動詞の習得メカニズムの解明
- 言語習得における多様性と普遍性の解明

一般言語理論、心理言語学、日本語教育に
大いに貢献